

2006 年度

科目名 保育実習指導	対象学科・学年 文学部教福 4 回生	担当者 農野 寛治 桜井 智恵子
授業テーマ 保育士実習に際して、現場で求められる知識・技術の再確認および実習内容と課題等を明確にすることで円滑に実習をすすめるとともに、実習で得られた体験や学習内容を深化することを目的とする。		
授業の概要と目標 保育所実習、施設実習、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲの各現場実習に取り組むにあたり、各実習の意義・目的・内容の理解、実習に臨むにあたっての心構え、自身の課題の明確化等をすすめる事前指導、および実習期間中の実習現場訪問指導、実習後の事後指導を通じて、保育士の業務の理解と保育実践力の向上を図ることを目的とする。		
評価方法 授業と課題への取り組みの姿勢、実習現場での評価などをもとに総合的に評価する。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
I. 実習の意義・目的・内容の理解 ・保育士実習課程における各実習の位置づけ ・各実習の具体的内容の把握と実習計画全体の理解 II. 実習方法の理解 ・実習の段階と具体的内容の理解 ・保育士の職務の理解 III. 実習への心構え ・子どもの権利尊重の遵守と秘密保持 ・実習に臨む際の注意事項 IV. 実習記録の意義と方法 ・記録をとるということの意義 ・記録の内容と記録の方法 V. 実習課題の明確化 ・実習課題とは何か ・自己の課題の設定 VI. 保育計画と指導計画 ・計画の意味とその理解 ・計画案作成のための基本的知識 VII. 実習施設の理解 ・児童福祉施設の理解 ・事前見学とオリエンテーション VIII. 実習に関する事務手続きの把握 ・必要な書類と手続き IX. 実習直前の指導 ・実習中の連絡方法 ・訪問指導について X. 実習事後指導（１） ・実習を振り返る ・設定課題と成果 X I. 実習事後指導（２） ・自身に残された課題 ・保育士という仕事		